

health care report

Soleil

2017



それいゆ
vol.213



株式会社 M&Cパートナーコンサルティング

イキイキ 現場レポート

株式会社 エムダブルエス日高

〒370-0002 群馬県高崎市日高町349 TEL 027-362-0691 FAX 027-362-1420
http://mws-hidaka.jp/

次世代型デイサービスにみる 移動スーパーの取り組み

群馬県高崎市に本社を置く株式会社MWS日高。「大規模デイサービス」として、200人以上の利用者をサポートしています。



【株式会社MWS日高】在宅介護事業を中心に介護保険の諸事業を展開するグループ。群馬県内に大規模デイ、短時間デイ、認知症に強いデイなど、11のデイサービスを運営。

◀ MWS日高地域福祉交流センター
「シニアトレーニングジム」「日高学童クラブ」「カフェ」を併設。
日本のみならず世界中から視察が訪れています。

市場の活気を毎日の リハビリテーションに

午前10時、MWS日高に活気あるアナウンスが流れます。

「本日のお買い得商品のご案内をいたします。県内産のキャベツ98円、ぶどう1パック398円、牛乳119円、平成29年の新米も届いております…」

移動スーパーのフレッシュ便がデイサービスの入り口に到着したのです。利用者は続々と財布を持って移動します。移動スーパーには、新鮮な肉や魚、野菜や卵、米、果物などが並んでいます。しかも価格は地元スーパーと同じ。お買い得商品も満載です。

混雑を防ぐため、買い物は順番制をとっていますが、旬の果物を手に取って、「美味しそうね」「そうね」と聞こえる会話は、市場さながら。



移動スーパー「フレッシュ便」の中

イキ、イキ！現場レポート

MWS日高に移動スーパーが来るようになったのは、2012年から。買い物療法を気軽に提供できないかと考え、地元スーパーに掛け合っただけです。

北嶋社長によれば、「デイサービスと移動スーパーの相性は良い」そう。

「デイは、送迎サービスが付帯していますから、重たいお米でも買えるでしょう。荷物は運転の職員が自宅まで運びますからね。お嫁さんにお使いを頼まれて来る方もいるみたいですよ。デイに来ることで、家族の役に立てるって、良いでしょう？」

移動スーパーは毎日やってきます。だから利用者は、体操やレクリエーションのように、当たり前前のプログラムとして買い物療法を選ぶことができます。

自立促す施設、サポートの本質

移動スーパーは魅力的ですが、気になるのは現金の管理です。早速、北嶋社長に聞いてみました。

「コインロッカーがあるから大丈夫ですよ。」



購入した商品は、個人ごとに分けられ、衛生面に注意して、帰りの時刻まで保管します。



代表取締役 北嶋 史誉 社長

「思いついたら即行動！行動の基準は、利用者さんの自立につながるかどうか。そのためなら、常識なんてぶっ壊せ、という気持ちでやっています(笑)」

必要なら職員がサポートしますし、みなさん、大人なのでしっかり管理されています。」とあっさり。

トラブルを防止するために、現金の持ち込みを禁止しているデイサービスもある中、迷いなく、「大丈夫！」と言い切れるのは、利用者の尊厳を大切にしたいという思いと、職員を信頼する気持ちがあふれているからでしょう。



現金や貴重品を保管するコインロッカー。

はみだしコラム

専門性の高いリハビリにも定評があるMWS日高。事業所ごとに、維持改善度の結果をランキングし公表しています。ちなみに、今年半期のランキングで堂々1位に輝いたのは、本社併設のデイサービス。データによれば、本社デイでは8割以上が「維持」しています。

データはFacebookで外部にも発信しています。▶



「ほんの少し、今日楽しめるだけのお金を持って来られるって良いですよ。」という社長。たしかに、同デイを見渡すと、併設のカフェでコーヒーを楽しむ人もいれば、売店をのぞいている人もいます。最近は、夏季限定でアイスキャンディーの販売を始めたそうです。「お風呂上りや運動の後にお友達と一緒にアイスを食べるって、考えただけでも楽しいでしょう。」



カフェテラスでくつろぐ利用者。地域にも広く開放しています。

記者雑感

移動スーパーは、健康寿命にも影響？

フレイルやサルコペニアを防止するためには、魚、肉、野菜などをバランス良く摂ることが大切だと言われています。しかし、買い物弱者が、こうした食材を調達するのは、案外難しいものです。たとえば、水分を多く含む野菜は、かさばる上、保存が効きません。結果として、たまにしか買い物に行けない方は、野菜等には手が伸びにくく、保存の効く加工品を購入しがちになります。加工品は、一時的に使うには便利ですが、塩分が高く、長期的にはリスクの高い食べ物です。食生活を本質的に高めるには、新鮮な食材を日常的に調達できる環境が必要です。同デイでは、フレッシュな肉や魚、野菜や果物をスーパー価格で調達できます。また、利用者に限らず、地域に開放していますので、デイサービスを卒業しても利用できます。こうしたサービスがある地域とない地域では、10年後、どのような差が生じるのでしょうか。

次回は、湧き出るアイディアの秘密と、生産性を高める独自のシステムについてお伝えします。
(瓜生 千鶴)

思わず食べたくなるようなお知らせチラシ。工夫されています。